

# カツオ・キハダマグロまき網漁業

## MSC漁業認証を取得

当社は、2024年2月26日にカツオ・キハダマグロまき網漁業が持続可能な漁業の世界的基準であるMSC漁業認証規格を満たしているとして、MSC漁業認証を取得しました。

認証の対象は大洋エーアンドエフとミクロネシア連邦のNational Fisheries Corporation (NFC:国営漁業公社)との合弁会社、Taiyo Micronesia Corporation (TMC)が所有し、中西部太平洋で操業するカツオとキハダマグロのまき網漁業漁船3隻です。

予備審査の際には、WWF ジャパン (公益財団法人世界自然保護基金ジャパン)のご支援及び株式会社シーフードレガシーよりご指導を頂きました。本審査への準備と対応にあたっては株式会社 UMITO Partners にご協力頂きました。関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

大洋エーアンドエフは持続可能な漁業を次世代に繋げていきたいと考えています。当社の海外まき網漁業は前身となる旧・大洋漁業の時代の昭和20年代初頭よりさまざまな技術革新、改良を重ね、今日まで業界の発展に貢献して参りました。TMCは、漁業環境が大きく変化する中、2012年1月に将来を見据え持続的にかつ島嶼国と漁業国の双方に有益な新しい漁業経営を目指して、ミクロネシアを拠点とするべく、当社とミクロネシア連邦国のNational Fisheries Corporation (NFC:国営漁業公社)がミクロネシア連邦ポンペイ(州)に設立した漁業合弁会社であり、現在3隻のまき網漁船がミクロネシア連邦を含む中西部太平洋でカツオ・キハダマグロの漁獲を行っています。同社の漁業活動はWCPFC(中西部太平洋まぐろ類委員会)の保存

管理措置に従い、漁船に科学オブザーバーの乗船、混獲生物（サメ・エイ類、カメ類など）の安全な放流を行うなど生物多様性に配慮した操業を行っています。また、2018年1月には現地ポ  
ンペイにて、枕崎水産加工業協同組合、枕崎市漁業協同組合の協力のもと、陸上加工場の稼働を  
開始いたしました。

持続可能な漁業は将来にわたる食糧供給に欠かせない重要な産業と位置付けています。漁業  
認証を取得した海外まき網漁業のカツオ、キハダを原料にして、マルハニチログループ内外にお  
いて地球環境や水産資源に配慮した製品の加工、販売を進めて参ります。